

2007年3月期 決算説明会

2007年5月11日



古河スカイ株式会社

＜本日の内容＞

1. 2007年3月期（2006年度） 決算概要
2. 2008年3月期（2007年度） 業績見通し
3. トピックス

1. 2007年3月期(2006年度) 決算概要

2007年3月期(2006年度)決算のポイント

- 売上数量は回復、売上高は数量増及びアルミ地金高騰等により、連結で前年比14.4%増収
 - ・缶材は天候不順の影響等により微減
 - ・IT関連分野、輸送分野は好調を維持

- 営業利益・経常利益・当期純利益いずれも増益
 - ・売上数量の拡大
 - ・原油・原材料価格高騰によるコストアップについては、各種改善により吸収し増益

2006年度業績(対前年度)

<連結>

(単位:億円)

	05年度 (A)	06年度 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高	2,094	2,396	302	114.4
営業利益	144	165	21	114.3
経常利益	128	151	23	117.8
当期純利益	67	87	20	130.3

<単体>(ご参考)

(単位:億円)

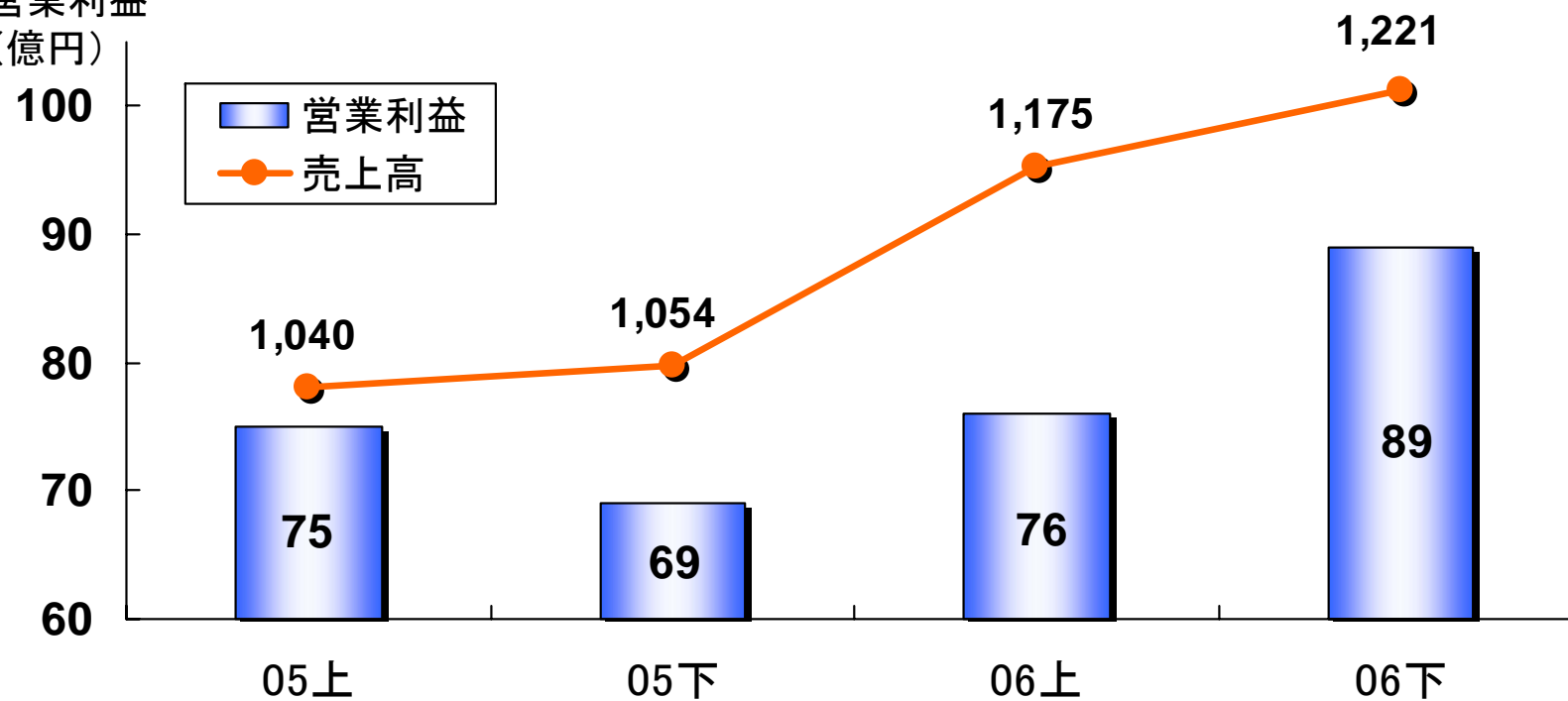
	05年度 (A)	06年度 (B)	増減 (B)－(A)	前年比(%) (B)／(A)
売上高 (数量)	1,808 427(千トン)	2,139 444(千トン)	331 16(千トン)	118.3 (103.8)
営業利益	128	145	17	113.6
経常利益	113	133	20	117.2
当期純利益	66	72	6	109.7

2006年度連結業績(上・下期別)

(単位:億円)

	06年度上期		06年度下期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	1,175	113.0	1,221	115.8
営業利益	76	102.0	89	127.6

営業利益
(億円)

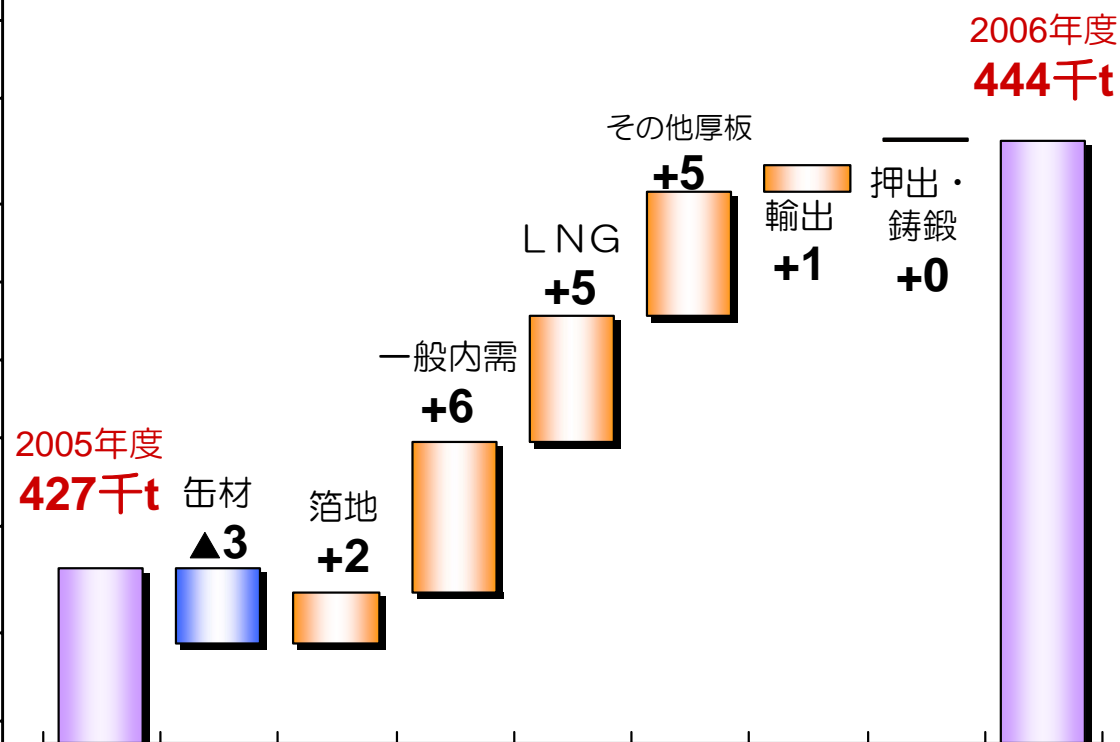


2006年度品種別売上数量比較(対前年度)

(単位:千トン)

品 種		05年度	06年度	前年同期比	
板	缶 材	132	129	98.4	
	箔 地	41	43	106.1	
	一 般 内 需	149	155	103.6	
類	厚 板	LNG	12	17	139.6
		その他	30	35	119.0
	輸 出	16	17	102.0	
	計	380	397	104.4	
押 出 計		46	45	98.5	
鑄 鍛 計		1	2	107.9	
総 合 計		427	444	103.8	

2006年度売上数量増減内訳 (前年同期比+16千t)



連結営業利益分析(05年度→06年度)

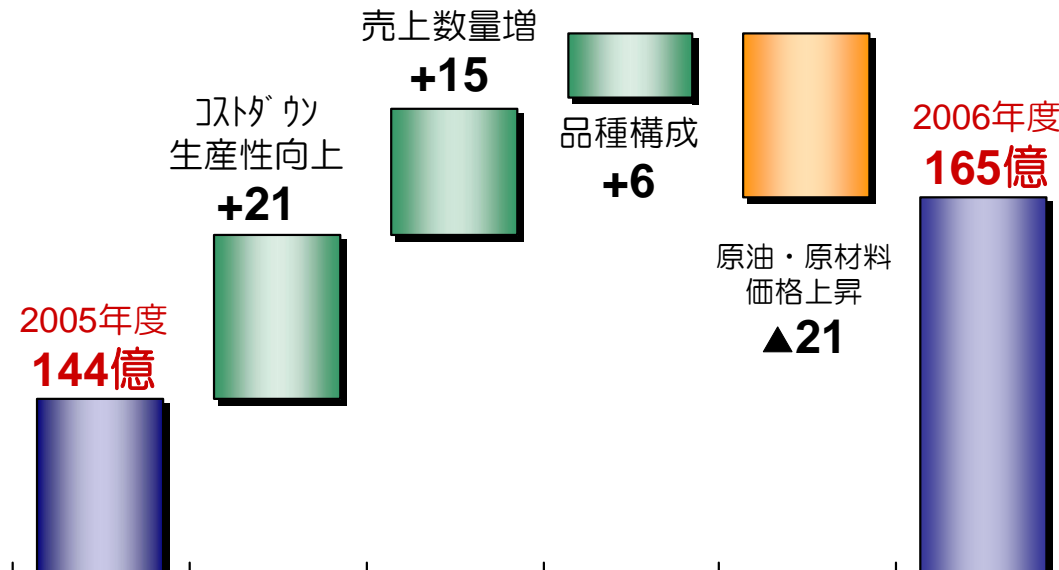
主な増益要因

- ・コストダウン・生産性向上 21億
- ・売上数量増 15億
- ・品種構成 6億

主な減益要因

- ・原油・原材料価格上昇 21億

2005→2006年度連結営業利益増減内訳(前年同期比+21億)



貸借対照表(連結)

(単位:億円)

	06/3末	07/3末	増減
流動資産	1,146	1,182	36
現金・預金	63	62	▲1
受取手形・ 売掛金	611	655	44
棚卸資産・ 前渡金	373	352	▲21
その他	99	113	14
固定資産	1,180	1,274	94
有形・無形固定資産	1,067	1,160	93
投資その他の資産	113	114	1
資産合計	2,326	2,456	130

	06/3末	07/3末	増減
流動負債	1,081	1,126	45
支払手形・買掛金・ 未払金・未払費用	608	712	104
短期借入金・一年以内 返済長期借入金・社債	422	371	▲51
未払税金・その他	51	43	▲8
固定負債	591	598	7
長期借入金・社債	424	427	3
その他	167	171	4
少数株主持分	27	26	▲1
資本合計	627	706	79
負債・資本合計	2,326	2,456	130

連結主要経営指標

	06／3	07／3
売上高営業利益率	6.9%	6.9%
R O E	12.2%	13.0%
R O A	2.9%	3.6%
自己資本比率	26.9%	28.7%

(ご参考)

ROE＝当期純利益／自己資本(期中平均)

ROA＝当期純利益／総資産(期中平均)

自己資本比率＝〔純資産(期末)－少数株主持分〕／総資産(期末)

2. 2008年3月期(2007年度) 業績見通し

2008年3月期(2007年度)業績見通しのポイント

- 中国を初めとしてアジア中心に、世界的に経済は拡大基調
- 国内経済も成長軌道を持続 民間設備投資も堅調に推移
- 売上数量については缶材、自動車関連、厚板等引続き堅調
LNG船向けは続伸
- 生産集約に向けた設備投資完成
- 海外工場量産稼動開始
- 税制改正に伴う減価償却方法変更

2007年度業績見通し

税制改正による減価償却費増

07年度連結で17億円、単体で15億円を含む (単位:億円)

<連結>

	06年度 (A)	07年度予想 (B)	増減 (B) - (A)	対比(%) (B) / (A)
売上高	2,396	2,500	104	104.3
営業利益	165	170	5	103.3
経常利益	151	155	4	103.0
当期純利益	87	88	1	101.3

<単体> (ご参考)

(単位:億円)

	06年度 (A)	07年度予想 (B)	増減 (B) - (A)	対比(%) (B) / (A)
売上高 (数量)	2,139 444(千トン)	2,250 449(千トン)	11 5(千トン)	105.2 (101.1)
営業利益	145	150	5	103.5
経常利益	133	135	2	101.8
当期純利益	72	80	8	111.3

2007年度品種別売上数量見通し

(単位:千トン)

品 種		06年度	07年度	前年同期比	
板 類	缶 材	129	132	102.3	
	箔 地	43	40	91.3	
	一 般 内 需	155	158	102.1	
	厚 板	L N G	17	19	110.6
		そ の 他	35	36	101.2
	輸 出		17	16	96.0
計		397	401	101.0	
押 出 計		45	46	101.7	
鑄 鍛 計		2	2	100.0	
総 合 計		444	449	101.1	

連結営業利益分析(06年度→07年度予想)

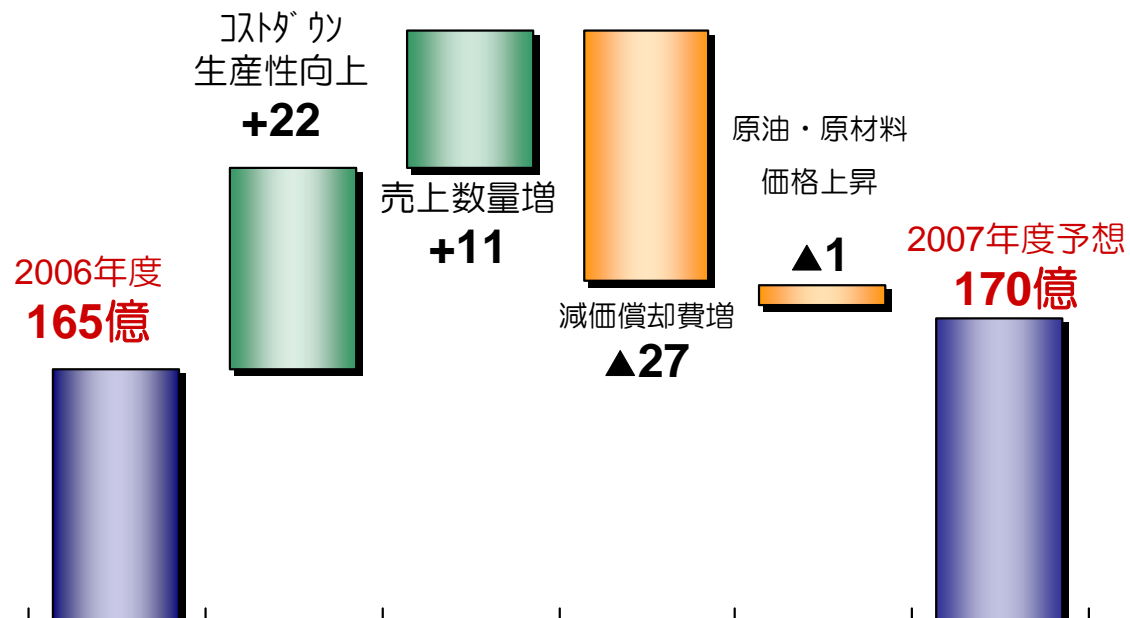
主な増益要因

- ・コストダウン・生産性向上 22億
- ・売上数量増 11億

主な減益要因

- ・減価償却費増 27億
(税制改正による増 17億含む)
- ・原油・原材料価格上昇 1億

2006→2007年度予想連結営業利益増減内訳(同期比+5億)



設備投資・減価償却費(単体)

(単位:億円)

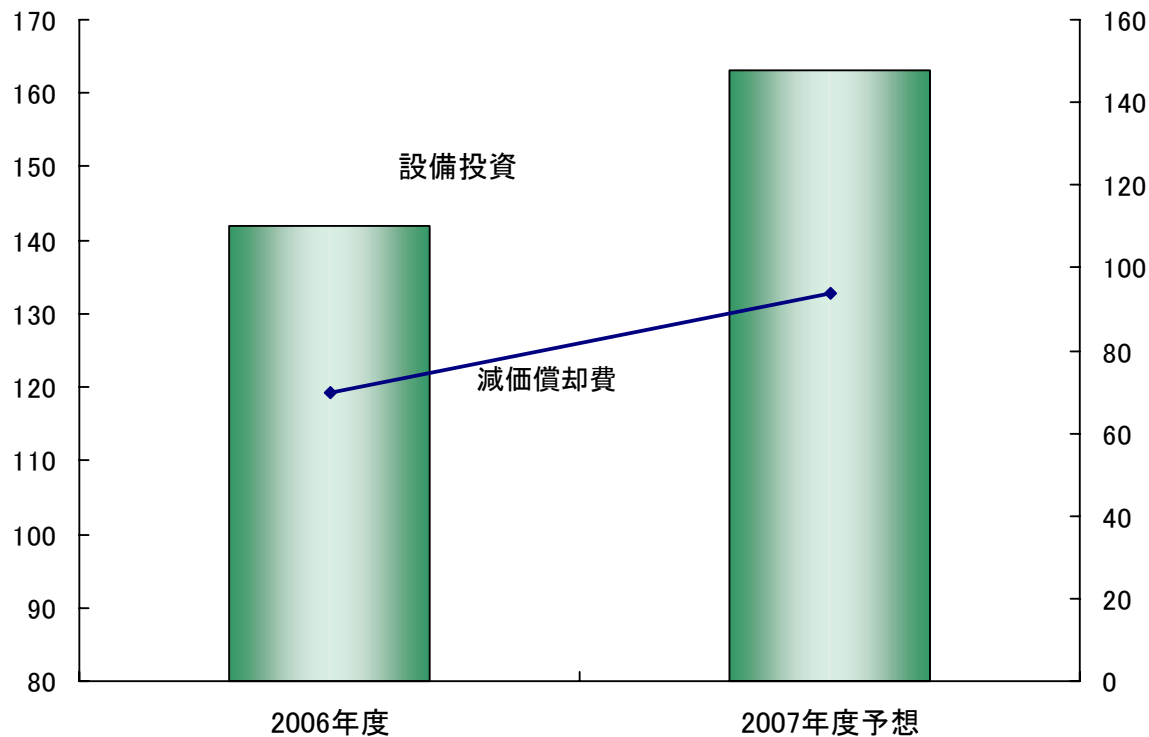
	06年度	07年度予想
設備投資	142	163
減価償却費	70	94

税制改正による

5%残存価額5年償却の影響額

15億円

設備投資
(単位:億円)



3. トピックス

〈設備投資〉

■ 福井工場 鑄造炉

07年7月完成(予定)

により、スラブ製造能力を増強



■ 小山工場 間接押出機

最新型間接押出機(4,000トン)が

06年12月から稼動

- ・製品品質、生産性の向上
- ・自動車材需要増への取組み

< 研究開発 >

- 福井・日光・小山・深谷地区にあった技術研究所を
深谷地区に集約中
- 今年度前半には各地区からの移動が完了し、
研究者140名を集結



<海外戦略>

■ 中国

Furukawa-Sky Aluminum (Tianjin) Corp. <押出>

2007年4月より量産開始

・・・月産約250トン(2008年計画)



中国(FSAT)

■ ベトナム

Furukawa-Sky Aluminum (Vietnam) Inc. <鋳物>

2007年3月より量産開始

・・・月産約60万個(2007年末)



ベトナム(FSV)

■ インドネシア

PT.Furukawa Indal Aluminum <押出>

2006年7月より量産開始

・・・月産300トン→400トン体制



インドネシア(FIA)

■ ギリシア AFSEL S.A. <販社/板>

2007年2月設立

< 中期連結経営計画見通し >

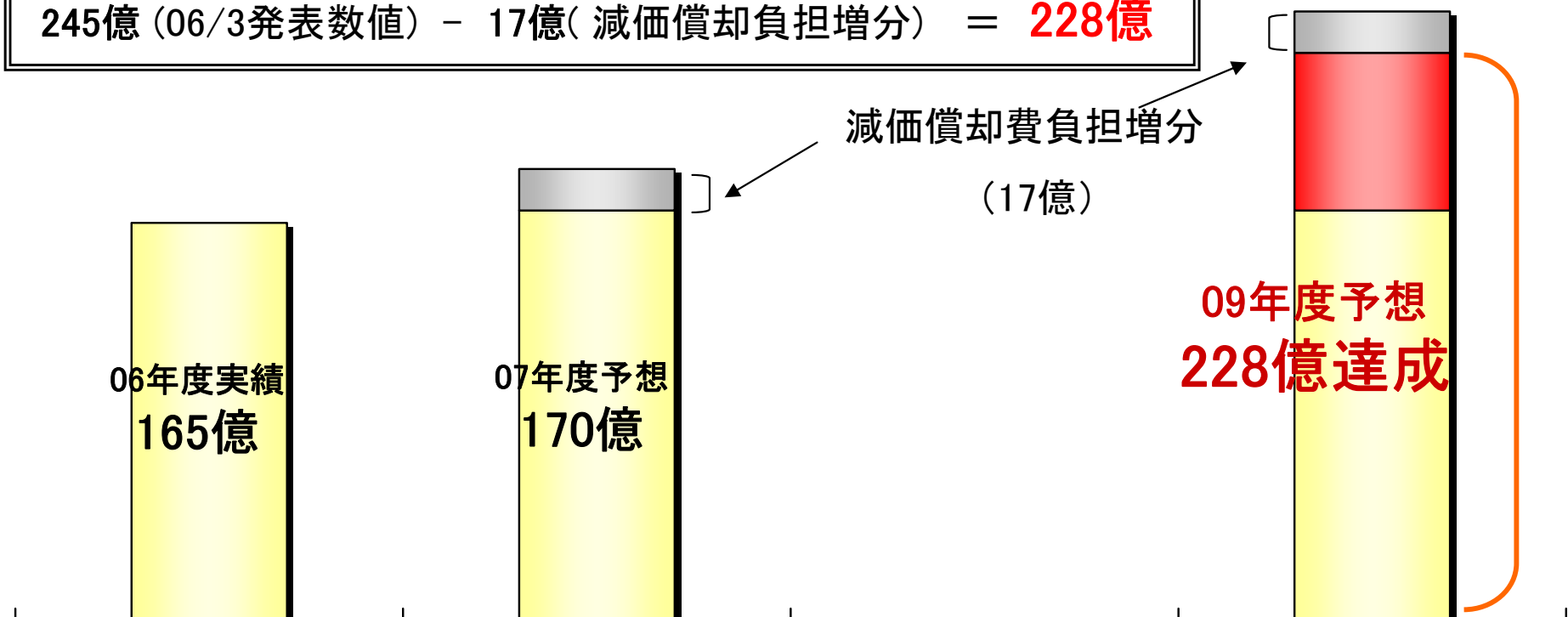
2009年度は、売上数量増、集約・合理化などの各種改善施策により、連結営業利益目標は達成の見込み

228億(245億－税制改正による減価償却費負担増17億)

→ 2006年度比+63億

2009年度 連結営業利益

245億(06/3発表数値) - 17億(減価償却費負担増分) = **228億**



■ 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

■ 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河スカイ株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

■ 本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

広報・IR室 TEL:03-5295-3668 FAX:03-5295-3760

ホームページ:<http://www.furukawa-sky.co.jp>
(東証1部 コード番号:5741)